

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

令和3年度は、令和元年から続く新型コロナウイルス感染症が未だ収束せず、令和3年4月25日から6月20日及び8月20日から9月30日の緊急事態宣言が発令され、姫路市の決定により、当財団の管理する3施設は休館や貸館の利用制限を行った。

文化芸術にとって追い風とはいえない状況で、姫路市文化コンベンションセンター（アクリエひめじ）の開館と姫路市文化センターの閉館という文化の節目の年を迎えることとなったが、情報収集に努め、収容人数や内容について慎重に検討し感染症対策を行いながら、アクリエひめじオープニングシリーズとして実施した大型の舞台芸術公演を始め、各施設の特徴を生かした舞台芸術公演や市民参加型事業を実施した。姫路市書写の里・美術工芸館においても、学芸業務や工芸教室などの普及・育成事業を実施し、幅広い世代に向け、播磨地域の文化への理解を育む機会を提供した。一部事業においては、実施の延期・中止を行ったほか、規模の縮小や内容の変更等により、市民の心情に寄り添う事業実施に努めた。

国際交流事業においては、感染症拡大が未だ収束しない状況下での生徒の渡航や相互交流による安全確保が困難なことから、青少年姉妹都市交流を2年連続で全面中止することとなったため、若い世代の交流機会確保に配慮しながら、市民に開かれた講座やイベント、国際交流体験の提供などの国際交流事業を実施し、文化の相互理解を深め、地域ぐるみの国際交流の推進に取り組んだ。また、在住外国人に向けた適時性のある情報発信と相談窓口業務の充実に努めた。

上記以外にもさまざまな事業を展開することにより、文化芸術・国際交流の振興にとどまらず、観光、まちづくり、教育その他関連分野との連携を深め、市民の活力ある文化的な生活の実現に寄与する。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとする。

- 公益目的事業1（略＝〔公1〕）音楽・演劇等の公演事業
- 公益目的事業2（略＝〔公2〕）文化振興のための育成普及事業
- 公益目的事業3（略＝〔公3〕）博物館の企画展示事業
- 公益目的事業4（略＝〔公4〕）文化施設の貸与及び管理運営事業
- 公益目的事業5（略＝〔公5〕）国際交流事業
- 収益事業1（略＝〔収1〕）管理運営施設等の物品販売事業
- 収益事業2（略＝〔収2〕）文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業
- その他事業1（略＝〔他1〕）その他の文化・国際交流事業

I 文化振興事業

「育成」「普及」「鑑賞」「交流」の4機能を事業の柱として設定し、すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施した。

1 アクリエひめじオープニングシリーズ

播磨地域の文化交流拠点として開館する姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)のオープンを記念してハイレベルな大型公演事業を実施し、新しい文化の殿堂と姫路のにぎわい拠点の誕生をプロモーションするとともに、新施設のイメージアップを図った。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	姫路市文化センターさよなら公演 第49回 姫路落語会 〔公1〕	R3.8.7(土) 【1回】	文化センター 小ホール	アクリエひめじ開館前のプレイベントとして、文化センターへのさよならと文化コンベンションセンターへの期待を込めて開催。 【出演・演目(出演順)】 桂米輝 「阿弥陀池」 桂鯛蔵 「動物園」 桂吉弥 「皿屋敷」 桂ざこば 「鉄砲勇助」 桂米團治 「掛け取り」 桂南光 「鴻池の犬」 【入場者】412人
2	「こころの祭 姫路」特別講演会 『文学が紡ぐ人々の「絆」』 〔公2〕	R3.9.16(木) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	市民文化の殿堂アクリエひめじの開館とこころの祭 姫路30回を記念して文化講演会を開催した。参加者は一般公募。無料。 講師:ロバート・キャンベル(アメリカ合衆国出身の日本文学者。東京大学名誉教授) 【入場者】258人(キャパ50%)
3	姫路藩伝統芸能 能と狂言 〔公1〕	R3.9.18(土) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	アクリエひめじ開館を記念し、姫路藩主の嗜みであった能楽を、本格的な能舞台を設営して上演。姫路能楽会の協力で、「高砂」などめでたい演目で市民文化の殿堂の完成を祝った。 【入場者】340人
4	久石譲&日本センチュリー 交響楽団 姫路特別演奏会 〔公1〕	R3.9.19(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	日本の映画音楽を代表する作曲家久石譲と日本センチュリー交響楽団のコンサート。 久石譲のスタジオジブリアニメーション映画音楽とクラシックの名曲を演奏。 【出演】 指揮:久石譲 演奏:日本センチュリー交響楽団 【入場者】1,796人
5	アクリエひめじオープニングシリーズ・姫路キャスパホール30周年記念 「青べか物語-関西風味-」 〔公1〕	R3.10.30(土) ~10.31(日) 【3回/2日間】	キャスパホール	姫路出身の劇作家、脚本家の鄭義信さんが「青べか物語」を下敷きに脚本、演出を務めた。はりま劇団協議会との共催で、プロ演者の出演に加え舞台制作、出演には地元播磨の劇団員が結集し、姫路にこだわった作品を上演した。 【入場者】①265名 ②176名 ③257名

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
6	ウィーン・フィルハーモニー 管弦楽団 姫路公演 〔公1〕	R3.11.5(金) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	世界3大オーケストラの一つであるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が、アクリエひめじ開館を記念して、初の姫路公演。 【出演】 指揮:リッカルド・ムーティ 演奏:ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 【入場者】1, 659人
7	紅白歌の祭典 〔公1〕	R3.11.13(土) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	姫路出身や姫路を中心に活動するアーティストが一同に介し、紅組、白組に分かれて歌合戦を繰り広げた。 【出演】 紅組:向井悠、松本温子、光岡あかり、河野仁美、うしをみやこ、久保貴子、池内陽子 白組:坂本樹生、藤川晃史、小倉佑樹、山田直毅、榎田俊介、羽生知央、TOUMA 【入場者】966人
8	オペラ千姫 〔公1〕	R3.12.11(土) ～12.12(日) 【2回】	アクリエひめじ 大ホール	播磨の姫君と呼ばれた徳川家康の孫千姫の生涯をドラマチックに歌い上げる創作オペラ。世界遺産姫路城のあるまち姫路から全国へ発信した。 原作:玉岡かおる著「姫君の賦 千姫流流」 作曲:池辺晋一郎 脚本:平石耕一 指揮:田中祐子 演出:岩田達宗 演奏:日本センチュリー交響楽団 【出演】 千姫(小林沙羅)、おちょぼ(古瀬まきを)、本多忠刻(矢野勇志)、本多忠政(池内響)、宮本武蔵(井上敏典)他 【入場者】 11日1, 371人 12日1, 424人
9	ディズニー オン クラシック 〔公1〕	R3.12.25(土) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	だれもが知っている魔法の国の名曲の数々。ディズニー・アニメーションやテーマパークの楽曲を、オーケストラと歌で届ける、夢と希望にあふれるコンサート。 【出演】 指揮:永峰大輔 演奏:オーケストラ・ジャパン 歌:ヴォーカリスト8名 ナビゲーター:ささき・フランチエスコ 【入場者】1, 830人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
10	N響姫路公演 〔公1〕	R4.3.13(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	日本を代表するNHK交響楽団の公演。 【出演】 指揮:原田慶太楼 ピアノ:小曾根真 演奏:NHK交響楽団 【入場者】1,790人
11	人形浄瑠璃文楽 文楽鑑賞教室 〔公1〕	R4.3.20(日) 【各1回】	アクリエひめじ 中ホール	ユネスコの無形文化遺産である文楽を、世界遺産のあるまち姫路の市民文化の殿堂開館記念として上演。 演目は「一谷嫩軍記(いちのたにふたばぐんき)」。 公演前には文楽鑑賞教室も開催した。 【入場者】本公演428人 教室134名

2 音楽のまち・ひめじ

姫路の街ににぎわいを創出すべく、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを推進した。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	姫路市文化センターさよなら公演 第24回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合 〔公1〕	R3.5.5(水・祝) 【1回】	文化センター 大ホール	地元アマチュアバンドが実行委員会形式により企画・立案、広報、チケット販売を行う。 【出演】 メガトーンジャズオーケストラ、サンデー・サウンズ・ジャズ・オーケストラ、スイングキャッツ、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部 他 計10団体出演 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
2	懐かしの洋楽ヒットパレード 〔公1〕	R3.5.27(木) R3.12.9(木) 【年間2回】	キャスパホール	元ラジオ関西DJの三浦紘朗が当時の世相などを織り込みながら進行する、オリジナル音源によるCDコンサート。 【入場者】①103人 ②154人
3	姫路市文化センターさよなら公演 播磨国吹奏楽団演奏会 〔公1〕	R3.5.30(日) 【1回】	文化センター 大ホール	吹奏楽講習会をリニューアル。 地元・関西を中心に活動している若手のプロ演奏家を集結させた「播磨国吹奏楽団」によるコンサート。 【出演】 特別指揮:佐渡裕 指揮:西谷亮 演奏:播磨国吹奏楽団 【入場者】611人(キャパ50%) 前日実施予定の楽器講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
4	姫路市文化センターさよなら公演 親子のためのクラシックコンサート 「音楽の絵本 ブリランテ」 〔公1〕	R3.9.4(土) 【1回】	文化センター 大ホール	子供のコンサートデビューにぴったり、凄腕の動物たちが活躍するクラシックコンサート。 【出演】 ズーラシアンブラス(金管五重奏) サキソフォックス(サクソ四重奏) 弦うさぎ:ベス(ピアノ) 【入場者】657人(キャパ50%)
5	姫路市文化センターさよなら公演 オオサカ シオン ウインド オーケストラ コンサート (共催) 〔公1〕	未定 【1回】	文化センター 大ホール	国内3大吹奏楽団の一つであるオオサカ シオン ウインド オーケストラ(旧大阪市音楽団)による吹奏楽の振興を図るコンサート。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
6	池辺晋一郎芸術監督シリーズ 「音楽をのぞいてみよう」 第1回 モーツァルト 第2回 シューベルト 〔公1〕	R3.9.23(木・祝) R4.1.30(日) 【2回】	パルナソスホール	池辺芸術監督による、作曲家を題材に音楽の楽しみ方や若手プロ演奏家育成を兼ね備えた演奏会を企画。クラシック音楽の入門編としてより身近に音楽に触れる機会を設けた。 ●第1回 【出演】 池辺晋一郎(お話)、向井悠(ソプラノ)、石川未央(ヴァイオリン)、山中歩夢(ピアノ) 【入場者】307人(キャパ50%) ●第2回 【出演】 池辺晋一郎(お話)、池内響(バリトン)、北垣彩(チェロ)、西田雪佳(ピアノ) 【入場者】242人(キャパ50%)
7	篠崎史紀&姫路市ジュニアオーケストラが贈る クリスマスファンタジー 〔公1〕	R3.12.19(日) 【1回】	パルナソスホール	NHK交響楽団第一コンサートマスターの篠崎史紀を迎え、姫路市ジュニアオーケストラとクリスマスにちなんだプログラムを共演。 【出演】 ソリスト:篠崎史紀(ヴァイオリン、NHK交響楽団第一コンサートマスター) 演奏:姫路市ジュニアオーケストラ 合唱:姫路市児童合唱団 【入場者】435人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
8	パルナソス 朝のハーモニー 〔公1〕	年 間 【6回】 3.5.8(土) 3.6.12(土) 3.7.10(土) 3.8.14(土) 3.11.13(土) 4.2.12(土)中止	パルナソスホ ール	第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめる コンサート。出演者は「姫路パルナソス音楽コ ンクール」入賞者や新進演奏家、地元音楽家 などの申し込みにより決定。出演者独自企画 による舞台づくりにより、演奏家育成を図った。 【出演】 5/8:宮下悠(トロンボーン)、金田仁美(ピアノ) 6/12:乃村八千代(ソプラノ)、益田早織(メゾ・ ソプラノ)、中村圭介(ピアノ) 7/10:野田祐子(チェロ)、松盛由佳(ピアノ) 8/14:藤田麻緒(サクソフォン)、佐藤亜衣(ピアノ) 11/13:田宮亮(オルガン) 2/12(中止):山中愛(ピアノ)、山本晴美(ピアノ) 【入場者】延べ870人

〔パルナソス育成普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第24回 姫路パルナソス音 楽コンクール 第24回 姫路パルナソス音 楽コンクール受賞者演奏 会 〔公1〕	R3.5.15(土) 予選 R3.5.16(日) 本選 【2回】 R3.10.17(日) 【1回】	パルナソスホ ール パルナソスホ ール	将来性豊かな才能あるアーティストの発掘と、 姫路地域における音楽活動の支援を目的とす るコンクール。 【部門】ピアノ部門、弦楽器部門 【審査員】 池辺晋一郎(作曲)、田中修二(ピアノ)、阿 部裕之(ピアノ)、大谷玲子(弦楽器)、林裕 (弦楽器)、薮田翔一(作曲) 【受賞者】 最優秀池辺晋一郎特別賞:北垣彩(チェロ) 第2位:木戸海友(ピアノ)、渡辺紗蘭(ヴァイ オリン) 奨励賞:金未卯(ピアノ) 予選出場者27人 本選出場者10人 【入場者】90人(キャパ50%) コンクール受賞者と日本センチュリー交響楽 団メンバーによる演奏会を実施。 【出演】 北垣彩(チェロ)、木戸海友(ピアノ)、渡辺紗 蘭(ヴァイオリン)、金未卯(ピアノ)、日本セン チュリー交響楽団メンバー 【入場者】154人(キャパ50%)
2	ピアノスクール第20回記念 上田晴子×宮川知子 ピアノデュオ 〔公2〕	R3.7.17(土) 【1回】	パルナソスホ ール	第20回を記念し、講師を務める上田晴子が、 若手ピアニストとの師弟共演によりピアノアンサ ンブルの魅力を贈る演奏会。 【出演】上田晴子(ピアノ)、宮川知子(ピアノ) 【入場者】124人(キャパ50%)

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
3	上田晴子ピアノスクール 「マスタークラス」 〔公2〕	R3.7.18(日) ～7.21(水) 【4回】	パルナソスホール	ピアノのソロとアンサンブルの公開レッスン。技術面だけでなく、演奏家としての心構え、音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニック。 【講師】上田晴子(パリ国立高等音楽院室内楽科教授・ピアノ科准教授) 【実技受講者】延べ43人 【聴講者】延べ99人
4	バロック in 姫路 〔公1〕	R3.11.23 (火・祝) 【1回】	パルナソスホール	ホール特性、音響の良さを生かし、チェンバロやポジティブオルガンなど、パルナソスホールの所蔵楽器を使用したオリジナル企画。 【出演】 大塚直哉(チェンバロ) ゲスト:藤井雄介(テノール) 映像・照明:大平久美(K Productions) 【入場者】181人(キャパ50%)

〔パルナソス楽器普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	オルガン振興事業 オルガンシリーズ Vol.8 白井圭×大平健介デュオコンサート オルガンシリーズ Vol.9 廣江理枝オルガンリサイタル ～オルガンの色彩～ オルガンシリーズ Vol.10 オルガン協奏曲の祭典 オルガンレクチャー&ミニコンサート 〔公2〕	通 年 R3.4.11(日) R3.9.26(日) R4.1.23(日) R3.7.11(日) 【各1回】	パルナソスホール	ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図り実施。 ●オルガン講座 【講師】長田真実(ホールオルガニスト) ・通年コース 【受講生】A:7人、B:3人、C:6人、アドヴァンス:6人 延べ22人 ・受講者発表会(3/19)【入場者】70人 ・1日体験(4/18、12/26、3/13各 A・Bクラス)【受講者】延べ34人 【観覧者】延べ22人 ●オルガンシリーズ 【出演】 Vol.8 白井圭(ヴァイオリン)、大平健介(オルガン) Vol.9 廣江理枝(オルガン)※9/25 オルガンマスタークラス開催 Vol.10 長田真実(オルガン)、西本幸弘、ビルマン聡平(ヴァイオリン)、村田恵子(ヴィオラ)、森山涼介(チェロ)、谷口拓史(コントラバス)、大平健介(指揮) 【入場者】延べ768人(キャパ50%) ●オルガンレクチャー&ミニコンサート&ワークショップ(紙工作) 【出演】長田真実、パルナソスホールスタッフ 【紙工作講師】三橋利行 【入場者】延べ315人(キャパ50%)

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
2	チェンバロ講座 〔公2〕	通年	パルナソスホール	チェンバロの活用と普及のため、「チェンバロ講座」とチェンバロ演奏に密接な関係のある「バロックダンス講習会」を実施。 ●チェンバロ講座 【講師】大塚直哉(チェンバリスト、東京藝術大学教授) 【受講者】 ・1日体験(4/24、8/9、1/10) 受講生:延べ21人(観覧:延べ20名) ・入門コース(通年):11人 ・初級コース(通年):6人 ・課題曲ワークショップ(通年):延べ59人(聴講生:延べ6人) ・調律ワークショップ:延べ16人(聴講延べ15人) ・上級コース(通年):1人 ●バロックダンス講習会 【講師】湯浅宣子 【受講者】 6/12、8/21、11/28 クラス1・2・3:延べ83人 ●受講者演奏会(2/20) 【出演者】14人 【入場者】70人(キャパ50%)
3	はじめてのフルート教室 (2期生) 〔公2〕	通年	パルナソスホール	楽器を通して、音楽に触れる機会の提供を目的として、初めてフルートを演奏する方を対象にした教室。 村松フルート製作所の協力による。 【受講者】延べ20名 ●夏休み！はじめてのフルート体験(8/29) 受講者:延べ28人(聴講延べ16人) ●受講者発表会(3/20) 出演者:30人 【入場者】83人(キャパ50%)
4	アウトリーチ事業 〔公2〕	通年	市内小学校	小学生への音楽教育の一環として、楽器の音を生で聴き、感性を豊かに育むために実施。 ●「ポジティブオルガンのワークショップ」 パルナソスホールのオルガンをより身近に感じられるように移動可能な楽器(ポジティブオルガン)を活用。講師はホールオルガニスト 【実施校】中寺小学校(12/1) コロナ対策のため5・6年生のみ実施 【参加者】延べ116人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により1校のみ実施。

〔交響詩ひめじ普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第32回「交響詩ひめじ」 合唱コンクール 〔公2〕	R4.2.6(日) 【1回】	パルナソスホール	市制100周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」を歌い継いでいくための合唱コンクール。 【審査員】 池辺晋一郎(財団芸術監督、「交響詩ひめじ」作曲者)、洲脇光一(兵庫県合唱連盟最高顧問)、林裕美子(声楽家)) コンクールに先立ち、12月5日(日)には、池辺晋一郎による公開合唱ワークショップ。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
2	「交響詩ひめじ」演奏会 〔公2〕	R4.3.6(日) 【1回】	パルナソスホール	「交響詩ひめじ」の普及を目的とし、2月の合唱コンクール受賞団体と、吹奏楽団によるジョイントコンサート。 お話:池辺晋一郎 指揮:下野竜也 演奏:播磨国吹奏楽団 姫路市吹奏楽団 【入場者】168人(キャパ50%) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により合唱コンクールが中止のため演奏会のみ実施。

〔音楽のまち・ひめじプロジェクト〕

〔公2〕

市内各地において多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業について、広く周知を図るため、事業紹介リーフレットの発行やホームページで発信を行い音楽の力で姫路を元気にする。

令和3年度は、姫路城周辺施設での「ふらっとお散歩コンサート」などを実施。

〔姫路市ジュニアオーケストラ〕

〔公2〕

芸術監督池辺晋一郎の提唱により、幅広い年齢層の若者を対象に、オーケストラへの参加と活動を通して社会性や協調性を養い、姫路市の未来の音楽文化を担う人材へと育成することを目的として、令和2年8月に「姫路市ジュニアオーケストラ」を創設。

コンサートホールでの定期演奏会を始め、学校の体育館や地域のコミュニティセンターに出向いて行うミニコンサートなどにも挑戦し、地域の中で文化交流の輪が広まる活動を行った。

【出演】 7/18 姫路フランス祭(主催:姫路市)

8/8 HIMEJI JC FESTIVAL(主催:姫路青年会議所)

2/23 ステラ・ケ・ブリラ(主催:国際ゾンタ SEN 姫路ゾンタクラブ)

〔ル・ポン国際音楽祭(姫路国際音楽祭)実行委員会事務局関連業務〕

〔公1〕

市民の間にクラシック音楽を楽しむ土壌を醸成すること、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現するとともに、姫路の魅力を世界に向けて発信することを目的として開催。平成24年から、赤穂国際音楽祭と共同で開催している。令和3年度は12月13日(月)日本時間午後8時から午後10時(ドイツ時間正午から午後2時)フィルハーモニー・ベルリン大ホールよりベルリン特別公演オンラインコンサートを実施し、ライブ配信した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。

3 市民文化高揚事業

演劇、古典芸能等の分野において、芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を開催するほか、各種の振興事業を実施した。

〔演劇、古典芸能、大衆芸能〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	東京演劇集団風 「Touch」公演&舞台技術 講習会 〔公1〕	R3.7.16(金) ～7.18(日) 【公演2回/ 2日間】 【講習会3回 /1日】	キャスパホール	1985年にシカゴで上演され、オフブロードウェイで絶賛を浴び、1987年には映画化もされた作品。公演と舞台の設営や照明・音響などを体験する講習会を実施。 出演・指導:東京演劇集団風 【入場者(公演)】①34人 ②42人 【参加者(講習会)】①7人 ②24人 ③2人
2	姫路市文化センターさよなら公演 「劇団四季 The Bridge ～歌の架け橋～」〔公1〕	R3.7.24(土) 【1回】	文化センター 大ホール	劇団四季の「舞台への祈り」を名曲にのせて贈る華やかな新作ショウ。 【入場者】1,316人
3	絵本の読み聞かせ 「絵本のじかんだよ!」 〔公1〕	R3.8.8(日) 【2回】	キャスパホール	NHK E テレの子ども向け番組オブロスキー役・小林顕作による絵本読み聞かせ公演。 【入場者】①172人 ②99人
4	第30回 こころの祭 姫路 〔公2〕	R3.11.11(木) 【1回】	文化センター 小ホール	姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催し。公募制。 新型コロナウイルス感染拡大防止要請のため、姫路市文化センター小ホールで舞台と展示の企画を実施。 舞台出演:10団体 展示出品:7名 【入場者】延べ430人
5	第30回 キャスパ寄席 〔公1〕	R3.11.20(土) 【1回】	キャスパホール	会館オープン当初から毎年開催している桂米朝一門の中堅、若手による落語会。 演目は、会場の雰囲気により決定した。 【出演者】(出演順) 桂弥壺 「桃太郎」 桂そうば 「代書」 桂出丸 「禁酒関所」 桂紅雀 「湯屋番」 桂雀三郎 「宿屋仇」 【入場者】219人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
6	アクリエひめじ開館記念 市川海老蔵 特別公演 〔公1〕	R4.1.28(金) R4.1.29(土) 【2回】	アクリエひめじ 大ホール	地域の文化芸術拠点として誕生したアクリエひめじの開館を記念して、姫路地域に根付いている伝統芸能の一つである歌舞伎公演を開催し、アクリエひめじの情報を全国に発信した。 【出演】市川海老蔵、市川九團次 他 【演目】「翁千歳三番叟」「棒しばり」「男伊達花廓」 【入場者】①1,582人 ②1,674人
7	2022文化交流 フェスティバル 〔公2〕	R4.3.18(金) 【1回】	姫路キャッスル グランヴィリオホテル	姫路市芸術文化賞授賞式を実施。 【受賞者】5名 【同伴者】10名
8	キャスパシアタープロジェクト～U-25が挑戦する、新しい演劇のカタチ～ 「かがみの孤城」稽古 〔公1〕	年間	キャスパホール	令和元年度まで実施されていた「高校生による演劇公演」の後継企画として令和2年度から新たに立ち上がったプロジェクト。 若い世代の人たちが文化に触れるきっかけや成長できる機会を創り、世界を広げていく場所とし、令和4年4月2日、3日の本番に向け、令和2年度は出演者募集、オーディション、稽古などを実施。
9	文化事業連絡会 〔他1〕	年間 【2回】	県内文化会館	近隣の文化会館との情報交換と交流や今後の連携公演などを計画した。
10	友の会事業 〔他1〕	通年		財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営。また、他の主催者が行う事業のチケットの作成、販売業務を行った。

4 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 〔公2〕

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信する。季刊3,300部

- ① 120号(夏号) 特集: 創刊30年記念 播磨わがまち 西播磨編
- ② 121号(秋号) 特集: 創刊30年記念 播磨わがまち 東播磨編
- ③ 122号(冬号) 特集: 亀山本徳寺
- ④ 123号(春号) 特集: 西国街道を歩く 須磨から姫路へ

5 「文化情報姫路」の制作 〔公2〕

姫路市とその周辺における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」を毎月制作し、市民に公開する。令和3年5月号から、ウェブサイトを通したデジタルデータでの提供を行った。

6 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 〔公2〕

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動に対して、財団の後援名義の使用を許可するとともに、年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活発化を図った。

助成金 応募:44件 交付:35件(辞退1件、中止7件)

後援名義使用許可:96件(内訳:音楽67件、舞踊12件、映画鑑賞6件、文学3件、美術2件、演劇2件、伝統芸能2件、国際交流1件、その他1件)

7 播磨学研究助成 [他1]

姫路市及び播磨地方の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を支出した。

8 女流王位戦助成 [他1]

女流棋士によって競われる将棋のタイトル戦、予選を勝ちあがった挑戦者との5番勝負の第1局を姫路に誘致、市民を対象とした大盤解説。

※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。

9 第75回姫路市民文化祭 [公1]

交響楽、器楽、吹奏楽、合唱、バレエ、邦楽、舞踊、能楽、民謡、詩舞道、演劇、茶華道、俳句、盆栽など各分野で活躍する郷土の約150団体、約3,652人の参加を得て15の催物を開催し、日頃の練習成果を披露して市民に鑑賞してもらう文化の祭典となった。

【開催日】10月30日(日)～11月28日(日)

【開催場所】アクリエひめじ、キャスパホール、パルナソスホール、市民会館、勤労市民会館

10 芸術文化賞選考 [公2]

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、姫路市芸術文化賞の選考を行った。表彰式は、令和3年3月18日(金)に開催された第44回姫路市芸術文化賞授賞式で行った。

(1) 選考委員会 1月13日(木)、1月25日(火)

(2) 選考結果

芸術文化大賞：柳谷郁子(文芸)

芸術文化年度賞：姫路市吹奏楽団(吹奏楽)、姫路しらさぎ刀剣会(工芸)

芸術文化奨励賞：尾崎織女(民芸玩具)、安田敬子バレエスクール(洋舞)

11 姫路市文化センターさよなら公演「姫路フランス祭」 [公1]

姫路市は、東京2020オリンピックにおけるフランスのホストタウンとして、フランス柔道選手団の事前合宿を受け入れました。それに伴い市民の皆様にはフランスと姫路市のつながりを知ってもらい、フランス文化に親しみ、楽しんでいただくため、市民コンサート「姫路フランス祭」を行った。

【開催日】7月18日(日)

【開催場所】姫路市文化センター大ホール

【特別出演】指揮者 飯森範親(日本センチュリー交響楽団首席指揮者)

【出演団体】姫路市ジュニアオーケストラ、姫路交響楽団、姫路市吹奏楽団、合唱団「響」
姫路市立広嶺中学校・灘中学校コーラス部、姫路市児童合唱団、姫路日仏協会、ヴォーカルユニット・エグレット、播磨国吹奏楽団

【入場者数】約500人

12 美術工芸館学芸普及事業

書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室などの学芸普及事業を実施した。

(1) 企画展 〔公3〕

NO	展覧会名	会期	内容
1	【春季特別展】 創作人形の世界 渡辺うめ人形展	R3.4.10(土) ～6.6(日) 36日間	渡辺うめ(1907-2014 年)は青森市に生まれ、昭和19年に現在の兵庫県養父市八鹿町に移り、以後但馬の地で暮らした。昭和50年代から本格的に取り組んだ農民人形は現在でも根強い人気がある。 本展では但馬に生きた渡辺うめの人形作品49点や関連資料19点を展示し、合わせて播磨で活躍する創作人形作家(荒木富佐子)の作品20点を紹介した。 【入場者】6, 345人
2	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 山口県の諸玩具	R3.4.17(土) ～8.26(木) 99日間	下関のふく笛、見島の鬼ようず、萩の夏みかん土鈴など86点を展示した。 【入場者】11, 241人
3	【企画展】 播磨の工芸紹介 -青野武市のガラス工芸-	R3.6.12(土) ～6.27(日) 14日間	播磨の工芸紹介として、姫路市出身でグラヴィールと呼ばれる技法を駆使したガラス工芸作家の青野武市(あおのたけいち・1921-2011 年)の生誕 100 年及び没後 10 年を踏まえ、人と作品を 29 点で紹介した。 【入場者】1, 706人
4	【所蔵品展 I】 生誕 110 年 清水公照す み・いろ・つち	R3.6.12(土) ～9.5(日) 74日間	当館初代名誉館長で姫路市出身の清水公照(1911-1999 年)は、奈良東大寺最高位の別当を務め「すみ・いろ・つち」と題し書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を制作した。これらの中から名品 52 点を紹介した。 【入場者】6,688人
5	【夏季特別展】 夏休み子どもミュージアム ～鉄・刀・金工	R3.7.3(土) ～9.5(日) 56日間	主に夏休みの小中学生を対象に、工芸品の魅力をわかりやすく紹介する展覧会。シリーズ9回目となる今回は「鉄」「刀」「金工」をテーマに、日本刀の製作工程資料や写真パネル、材料の玉鋼、また金工分野の工芸品112件243点を展示し、その魅力に迫った。同会期開催の姫路市立美術館での刀剣展示との連携も行った。 【入場者】4,891人
6	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 愛媛県の諸玩具	R3.8.28(土) ～12.16(木) 92日間	松山の姫だるま、宇和島の牛鬼、野田の土人形など81点を展示した。 【入場者】6,989人
7	【特別展】 兵庫県工芸美術作家協会 姫路展	R3.9.11(土) ～10.24(日) 37日間	県下で活躍する工芸作家「兵庫県工芸美術作家協会」は、公募入選作品を合わせ例年6月に神戸市で兵庫工芸展を実施している。本展はその姫路展として陶芸、染織、ガラス、皮革、漆芸、人形などの工芸作品を協会会員 43 名による 57 点を展示した。 【入場者】2,529人

NO	展覧会名	会期	内容
8	【秋季特別展】 日本やきもの旅-おすすめ窯元めぐり	R3.10.30(土) ～12.24(金) 46日間	日本には様々なやきものがある。本展は館蔵品から姫路の「東山焼」をはじめ、日本各地の産地、窯元を写真パネルなどを使って、旅行気分で行く日本のやきもの鑑賞ができるよう郷土玩具を含むやきもの127点と絵日記21巻を展示した。 なお併設展として「Focus on! 姫路のやきもの作家」を11月28日(日)まで一般展示室で、姫路在住の現役作家【井上奏、ウエダキョアキ、小野紘之、上出真由美、清瀬光洋、出口郁子、泥窯(トーマス・ドーシー、純子・河野・ドーシー)、西田博行、西山宗滴、原田隆子、山本真由美】を開催した。 【入場者】3,994人
9	【企画展】 はりこ絵付けコンクール展	R3.12.4(土) ～12.19(日) 14日間	姫路はりこのお面や人形に、参加者が自由に絵付けをしたオリジナルはりこのコンクール。7人が入賞し20人の応募作品を展示した。 【入場者】686人
10	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 千葉県の諸玩具	R3.12.18(土) ～4.4.14(木) 90日間	芝原人形、佐原はりこの亀車、下総の首人形や天神など 91点を展示した。 【入場者】7,272人
11	【新春特別展】 創立 50 年記念 '21 日本のガラス展	R4.1.6(木) ～3.6(日) 51日間	ガラスによる創作にかかわる人々によって日本で初めて創設された「日本ガラス工芸協会」が3年毎に開催し、15回目となる「'21 日本のガラス展」(2021年9月～)の兵庫巡回展。新しい表現や技法に挑戦し続ける現代ガラス作品93点を通してその魅力に迫る。今回は創立50年記念として功労者16名による特別出品も開催した。 【入場者】5,468人
12	【所蔵品展Ⅱ】 生誕 110 年 公照コレクション名品展	R4.3.12(土) ～4.3(日) 20日間	1975年に奈良東大寺住別当に就任した清水公照は、大仏殿大修理の傍ら、各地の窯元・工房を訪ね全国の工芸作家と親交を深めた。そこで収集したコレクションは多数に及ぶ。棟方志功「釈迦十大弟子」ほか、代表的なコレクションを館蔵品から56点展示し、清水公照と交友を紹介した。 【入場者】5,468人
13	【企画展】 児童陶芸作品展 未来へはばたけ！世界にひとつだけの思い出	R4.3.12(土) ～4.3(日) 20日間	林間学舎の参加校減や、播磨工芸教室の中止等の代替案として、年度当初案にはなかったが、実施した展示。 姫路市立大塩小学校・城陽小学校・手柄小学校の274人が、5年生の「自然学校」活動のひとつである「陶芸教室」で陶芸家の清瀬光洋氏(陶芸教室こうよう)の指導で体験した、やきもの作りの成果を展示した。 【入場者】1,014人
14	私のいっぴんギャラリー	通年	公募により、工芸分野の市民作品・コレクションを2週間ごとに一品(いっぴん=逸品)ずつ展示した。 【応募者】11人 【観覧者】27,057人。

※会期の日数は休館日を除く。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日(日)から5月11日(火)まで臨時休館した。 ※令和3年度の入館者数 27,057人 開館日数 285日

(2) イベント、各種体験教室の実施 [公2]

当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、自然豊かな書写山の魅力を発信し、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施した。

- ① 書写山新緑まつりイベント 5月9日(日)陶芸教室を実施 臨時休館に伴い中止
- ② 開館記念日(27年)イベント 7月4日(日)茶会を実施 【参加者】59人
- ③ 秋季の観光促進イベント 11月6日(土)7日(日)秋の文化祭を実施
【出演者】10組【参加者】700人
- ④ 書写山もみじまつりイベント 11月28日(日)漆スタンプキーホルダー作りを実施
【参加者】20人

また、陶芸、染織、革細工、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施した。【参加者】243人(展覧会付帯教室を除く)

(3) 伝統工芸の製作実演 [公2]

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施する。

【実 演】姫路はりこ、姫路こま、姫山人形等の製作

【実演日】土、日曜日、祝日(一部不定期) 【実施日数】延べ230日

(4) 常設展示や企画展示の付帯事業として図録等関連商品の販売を行った。 [収1]

II 国際交流事業

地域ぐるみの国際交流を推進し、多文化共生社会の実現を図るため、地域住民への国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流などの事業を実施した。

1 地域住民への国際教養の普及啓発に関する事業 [公5]

(1) 国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を提供した。2回実施。

- ・ヤニックさんと楽しいクリスマス 12月12日(日) 【参加者】21人
- ・ザックさん教えて！ウェールズってどんなところ？ 2月13日(日) 【参加者】29人

(2) 国際理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を市内の公立小中高等学校や公民館等へ派遣し、スライドなどを用いた講演を通して、市民に国際理解を深める機会を提供した。年18回実施予定。

【参加者】884人

また、国際理解出前講座の周知を図るために写真展を開催した。

【開催日】3月1日(火)～3月14日(月)

【会 場】イーグレひめじ

(3) 国際理解ミニ講座「@イーグレ世界旅行」

市民の国際理解を深めるとともに国際理解出前講座に興味を持ってもらえるよう、市のスプリングフェスティバル開催日に併せて、出前講座講師によるミニ講座を開催した。

【開催日】3月13日(日)

【会 場】イーグレひめじ

【内 容】4講座(チェコ、ペルー、バヌアツ、イタリア) 【参加者】30人

(4) 海外姉妹都市検定

小学生に海外姉妹都市についての関心と知識を深めてもらうために実施した。

【実施期間】7月～3月

【参加者】6人

2 海外諸都市との友好交流に関する事業

(1) 友好親善事業 [他1]

姉妹都市等との友好交流を通して、市民間の交流、市民の異文化理解を図る。

- ① 海外からの来姫者対応(随時)
- ② 昌原市姉妹都市提携20周年記念訪問団派遣
※新型コロナウイルス感染拡大により中止。
- ③ 昌原市からの姉妹都市提携20周年記念訪問団レセプション
※新型コロナウイルス感染拡大により中止。
- ④ フェニックス市からの姉妹都市提携45周年記念訪問団レセプション
※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

(2) 青少年交流事業 [公5]

姉妹都市でのホームステイを通して異なる文化を理解し、お互いの違いを認めながら共生できる次代を担う青少年を育成する。

① 青少年派遣

※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

姉妹都市名	派遣者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	0	中止
アデレード市	高校生	0	中止
クリチーバ市	高校生	0	中止
シャンティイ城・シャルルロア市	中学生	0	中止
昌原市	中学生	0	中止
太原市	中・高校生	0	中止
コンウィ城	中・高校生	0	中止

② 青少年受入

※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

姉妹都市名	受入者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	0	中止
アデレード市	高校生	0	中止
クリチーバ市	高校生	0	中止
昌原市	中学生	0	中止
太原市	中・高校生	0	中止
コンウィ城	中・高校生	0	中止

③ 派遣生 OB への活動支援(随時)

④ 子ども国際交流スクール

次代の姫路の国際化を担う青少年を育成することを目的として実施。海外姉妹都市、多文化共生や姫路の地場産業などについて学習した。海外姉妹都市とのオンライン交流やフラットスタンレープロジェクトも実施した。

【開催期間】 6月5日(土)～9月5日(日) 全8回 【参加者】 小学6年生 25人

< 縮小版 >

【開催日】 11月23日(火・祝)、27日(土) 【参加者】 小学6年生16人、5年生6人

⑤ 海外姉妹都市とのオンライン交流

コロナ禍で実施できなかった青少年派遣・受入事業に代わる交流事業として実施した。

・シャルルロア市と中学生

【開催日】 7月25日(日)

【参加者】 姫路 : 中学生 9人

シャルルロア : ホストファミリー 9組

・アデレード市と高校生

【開催日】 7月30日(金)、8月6日(金)、8日7日(土)

【参加者】 姫路 : 高校生17人

アデレード : 高校生18人

・シャンティイ市と中・高校生

【開催日】 9月23日(木・祝)

【参加者】 姫路 : 中学生 9人、高校生 2人

シャンティイ : 高校生、ホストファミリー、副市長など 計21人

・昌原市と中・高校生

【開催日】 1月5日(水)、6日(木)、10日(月・祝)

【参加者】 姫路 : 中学生 4人、高校生 6人

昌原 : 中学生 4人、高校生 4人

⑥ フラットスタンレープロジェクト

児童に、海外姉妹都市や異文化への理解を深めてもらう目的で実施。姫路市とアデレード市の小学生が紙人形を交換し、それぞれの街で様々な体験をさせ、滞在記録とともに送り返すことにより交流した。

・広畑小6年生(2クラス)とモーガン・プライマリースクール

・船場小5年生(3クラス)とパラヒルズスクール

⑦ 「わたしの国際交流」展

国際交流の素晴らしさや大切さを市民に広く伝えるため、国際交流をテーマにした写真と川柳を募集し、入選作品等を展示した。

【応募数】 写真 : 31点(20人) 川柳 : 30点(23人)

【作品展示】 イーグレひめじ 11月16日(火)～11月30日(火)

姫路市役所 1月18日(火)～ 1月31日(月)

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公5]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活等)を母国語等で提供し、暮らしやすい環境づくりを行った。

種類	発行回数	内容
外国語生活情報誌 「VIVA! ひめじ」発行	年4回 各 約2,800部	在住外国人への最新生活情報提供。 6か国語(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国) ※やさしい日本語版の発行も始めた。 ※また、編集ボランティアと翻訳ボランティアの意見交換、交流を行う「VIVAの集い」を開催した。

- (2) 外国語放送による情報発信 [公5]
FM Genki でベトナム語により生活情報等を提供した。毎週1回。5分程度。
- (3) 機関紙等の発行 [公5]
機関紙により事業実施状況を報告した。

種類	発行回数及び部数		内容
機関紙「Hello ! Himeji」	年1回	1, 500部	事業紹介。賛助会員等へ郵送、イベント開催時に配布。
機関紙「SHIRASAGI」	年3回	各300部	最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。
海外姉妹都市青少年交流事業報告書	青少年派遣・受入事業の中止により発行せず。		

- (4) 賛助会員への通知 [他1]
機関紙、イベントの案内等をダイレクトメールにより送付した。
- (5) ウェブサイトの運営 [公5]
イベントの告知及び報告、在住外国人のための生活情報等をインターネットにより提供した。
- (6) 「広報ひめじ」記事のやさしい日本語化 [公5]
日本語に不慣れな外国人へ速やかな情報提供を図るため、姫路市の広報誌「広報ひめじ」の中から、外国人に必要な記事を選んでやさしい日本語に翻訳した。「広報ひめじ」に掲載したQRコードから財団ホームページへ移動して、やさしい日本語で記事を読むことができる。
- (7) やさしい日本語講座 [公5]
やさしい日本語の認知度を高めるとともに、「VIVA ! ひめじ」のやさしい日本語版発行に携わるボランティアを養成することを目的として実施した。
【開催日】 2月11日(金・祝)、12日(土)
【参加者】 21人(内、ボランティアに登録11人)

4 外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業 [公5]

- (1) 在住外国人のための日本語講座の開催
- ① 在住外国人のための日本語講座
地域や職場で必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行った。初級6クラス、初中級1クラス、中級1クラス各10人。年2期(9～11月／12～3月) 各10回開催。※第1期(5～7月)は、新型コロナウイルス感染拡大により中止。
- ② 日本語ひろば・日本語ひろばキッズ・日本語ひろばキッズ+
日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行った。また、学校の長期休業期間中に、外国ルーツの小中学生を対象に日本語学習や教科指導を行う「日本語ひろばキッズ+」を実施した。
- (2) 市民のための外国語講座
市民に、外国語を学習する機会を提供し、市民の異文化理解を図る。姫路獨協大学との共催事業。
※令和3年度はイーグレひめじでの開催実績なし。
- (3) 日本語学習支援ボランティア養成講座
日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する日本語学習支援ボランティアを養成するた

め、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法についての基礎講座を開催した。

【開催日】 8月1日(日)・ 7日(土)・ 8日(日)

【会 場】 姫路市市民会館

【受講修了者】 24人

(4) ボランティアステップアップ学習会

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催した。年2回実施。

・外国にルーツを持つ子どもの学習支援対策講座

【開催日】 9月11日(土) 【参加者】 18人(内6人はオンライン参加)

・情報誌づくり講座 ～デザイン編～ 12月11日(土) 【参加者】 20人

(5) 外国人相談センター

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援した。

開催場所	曜日	時 間	内 容
市民相談センター (市役所1階)	月～金曜日	9時～12時、13時～17時	日本語、英語、フランス語
		13時～17時	ベトナム語
	火曜日	13時～16時	中国語、ポルトガル語、 スペイン語
城東町総合センター	火曜日	13時～17時	ベトナム語
高木総合センター	水曜日	13時～17時	ベトナム語
見野の郷交流館	木曜日	13時～17時	ベトナム語

※ 休日及び年末年始を除く

(6) 地域交流事業

地域で暮らす外国人と市民が、料理教室等のイベントを通して交流し、相互理解を図り、異なる文化を持つ人々が暮らしやすい地域づくりを促進するための事業を実施した。また同様の事業を実施した2団体に助成した。

・壹怡さんと踊ろう！チベット伝統舞踊 2月5日(土) 【参加者】8人

(7) 国際交流フェスティバルの開催

各国料理模擬店、多文化共生を考えるワークショップ、各国民族舞踊音楽の紹介、世界の遊び、民族衣装やアボリジニアート体験などのイベントの開催を通して、市民の異文化交流・理解を図る。

※新型コロナウイルス感染拡大により中止。代替事業として「国際交流フェスティバル写真展」を開催した。

【場所・期間】 イーグレひめじ 10月23日(土)～11月 3日(水・祝)

イオンタウン姫路 11月11日(木)～11月23日(火・祝)

姫路市役所 12月14日(火)～12月24日(金)

(8) 日本語スピーチコンテストの開催

日本語を母語としない在住外国人に日本語学習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に多文化共生社会について考えるきっかけを提供する。

※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

(9) 国際理解映画上映会

市民に、映画を通じて国際問題について考える機会を提供した。

・「デュカリの夢」 7月 3日(土) 【参加者】120人

・「ロープ ～戦場の生命線～」 12月 5日(日) 【参加者】 86人

(10) フードドライブ

生活に困難を抱える在住外国人の支援を目的に、NPO法人フードバンクはりまと連携して、家庭等で余っている食品などを集めるフードドライブを実施した。外国人相談センター等へ食べることに困っている外国人からの相談があった際に、フードバンクはりまからの支援につなげる足掛かりとなった。

【開催日】 12月10日(金)、11日(土)

【会 場】 イーグレひめじ

【成 果】 食品約300kgと日用品

(11) オンライン英会話サロン

賛助会員を対象に、気軽に英会話を楽しむことができる機会を提供するため実施した。

【参加者】 延べ85人

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業 [他1]

事業名	対象者	内容
ボランティアの登録	一般市民	ホームステイ、通訳・翻訳、日本語指導のボランティアを随時受付した。 令和4年3月末時点：通訳・翻訳ボランティア登録 88件 ホームステイ受入登録 90件
ボランティアによる事業推進	一般市民	ボランティアが主体的に企画・運営する事業について以下のとおり行った。 ① 日本語学習に関しボランティアが学習者を支援する。また、学習者を対象にイベントを実施した。 ②情報誌作成に関しボランティアが企画・取材・翻訳・編集に携わった。

Ⅲ 施設管理運営事業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を図った。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施した。

一昨年度、前年度から引続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため政府の自粛要請に応じた使用中止が相次いだ。緊急事態宣言が発出され、4月26日から5月11日まで休館となり、解除後については、感染対策を万全に期し、入館人数の制限等を行いながら施設の貸出を行った。

姫路市文化センターについては、12月28日をもって閉館し、49年の幕を閉じた。

文化事業への貸出は、公益目的事業4。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理した。

1 姫路市文化センター(指定管理施設)の管理運営

年間利用者＝ 88,840人 使用率＝大ホール 54%、小ホール 35%

2 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

年間利用者＝ 19,574人 使用率＝48%

3 パルナソスホールの管理運営

年間利用者＝ 25,581人 使用率＝67%

令和3年度 事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。